

質問事項		記述式回答
賃金の上昇及び設備投資の促進に必要な取組について		
1	<p>好調な企業収益や雇用環境の改善に比べ、賃金の上昇が緩やかとなっている要因、また、今後、賃金がさらに上昇していくために、政府はどのような取組を行うべきか、お考えをご教示ください。</p>	<p>賃金の上昇が緩やかとなっている要因の一つとして、正規雇用比べ賃金の安い非正規雇用比率の増加と、業種として、製造業に比べ平均給与水準が低いサービス業の雇用者数が増えていることが考えられる。このため、正規雇用比率を増やし、サービス業の労働生産性の向上による賃金の上昇を図ることが必要である。正規雇用を増やすことで、企業が継続安定的に人材育成を行うことが出来、高いパフォーマンスを期待することができる。更に、そうした人材育成が労働生産性を上げることにつながり、そのことで賃金の上昇をももたらすことにつながる。そこで、政府は正規雇用促進を図ると共に、非正規雇用者を含めた雇用者の教育訓練、キャリアアップ機会の拡大策を支援すべきではないか。例えば、在職中に大学、専門学校への入学や、得られた資格の評価・反映を行う企業への支援や、公的機関(大学等)でのサービス産業雇用者の人材育成を考えてはどうか。</p>
2	<p>好調な企業収益に比べ設備投資に力強さが欠けている要因、また、今後、設備投資(機械設備、構築物、研究開発等)を一層促すために、政府はどのような取組を行うべきか、お考えをご教示ください。</p>	<p>企業や社会の必要性によって、新たに投資案件を増やす誘導を行わない限り、企業設備投資がこれ以上に増えることは無い。誘導すべき新たな設備投資案件として考えられるのは、技術イノベーションによって新たな事業創出をもたらす研究開発であり、中でも持続可能な社会実現のための環境技術投資ではないか。政策として、企業間(異業種)連携、産学連携による再生可能エネルギー技術、水素利用技術、宇宙開発技術、地球温暖化対応技術等の環境技術への研究開発支援を厚くしていくことが考えられる。</p>